

平成20年度 郷土資料館特別展  
**「ジョセフ・ヒコ」**  
 Joseph Heco  
 播磨町で生まれた「新聞の父」ジョセフ・ヒコが  
 1858年にアメリカの市民権を得てから、今年で150周年となります。

### ⑨ 二つの写真

今月は、ジョセフ・ヒコの写真を紹介します。



▲ジョセフ・ヒコとヴァン・リードの写真。髪の毛一本もしっかり写っています

【ヒコ・クイズ】ジョセフ・ヒコの写真のうち、上記の写真は何でできた写真でしょう。

- ① ガラス板
- ② プラスチック板
- ③ 陶板

郷土資料館の  
 開館にあたり、  
 偶然に所有者  
 がわかり、播  
 磨町に引き取  
 られたといわ  
 れています。  
 (郷土資料館  
 田井恭一)



クイズの答  
 ① ガラス板

ジョセフ・ヒコの写真は、数点ありますが、有名なのはスイスのコレクターが持っている物です。一見、女の子と見間違えうほど整った顔立ちで、その後の活躍を予感させるものです。この写真が写された時期は、服装などから、漂流の後、サンフランシスコに着いた直後の1851年と考えられています。

このとき、栄力丸の乗組員17人全員が、1人ずつ写されていたと思われます。理由は、この写真をもとに、当時の新聞に、イラストで紹介されているからです。ただ、ガラス板でできていて、割れやすく、今も残っているのは、6人の写真だけです。ジョセフ・ヒコの写真も、運よくスイスの方が大切にされていた。写真の表情と新聞のイラストの表情とはよく似ています。なお、この6人の写真は、日本人が写った最も古い写真と考えられています。

播磨町郷土資料館に保存している写真は、ジョセフ・ヒコが帰国するためにサンフランシスコに来た1858年に、友人のヴァン・リードと再会したときに写したと考えられます。これもガラス板でできた古いタイプのもので、2人とも日本での活躍を夢見て、まっすぐこちらを見つめています。そして、帰国した1859年に、横浜へ訪ねてきた兄へ、土産として渡しています。

その後の歩みは不明の部分もありますが、播磨町

【問い合わせ】郷土資料館 ☎079 (435) 5000

絵ものがたり『ジョセフ・ヒコと洋式帆船の男たち』(播磨町ふるさとの先覚者顕彰会) 発売中2,500円



町の人口 11月1日現在 (住民基本台帳人口+外国籍人口)  
 34,303人 (+22人) 男...16,826人 (+23人) 世帯数...13,373 (+21)  
 女...17,477人 (-1人)